

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	埋蔵文化財調査センター施設管理事業	所管	教育委員会教育総務部 文化財保護課
			Tel 2998-9253

事業の目的 (何の為に 行うか)	発掘調査等による出土遺物や付帯資料を永年にわたって整理・保存し、それらの展示・活用を十分に行うため、各種情報を児童・生徒や一般市民に広く提供する施設として、埋蔵文化財調査センターを適正に管理する。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	整理・保存においては、出土遺物・資料 展示・活用においては、児童・生徒、一般市民	対象とした数	339,058	人
		実際に 利用した数	10,933	人

活動の内容	(何を したか)	①発掘調査資料の整理・保存 ②調査報告書の作成 ③出土品の展示・活用 ④施設利用者への各種サービス提供のための施設維持管理業務							
		活動実績	項目名	施設利用者数	10933	項目名	年間開館日数	247	項目名
				----- 単位 人			----- 単位 日		----- 単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	10,760	10,186	50,861	150.0

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	施設修繕件数	年間の施設修繕件数	5	7	140.0
			----- 単位 件	----- 単位 件	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	120500	TEL	2998-9253
事業コード	埋蔵文化財調査センター施設管理事業	担当部課	教育委員会教育総務部 文化財保護課			
120505		グループ	埋蔵文化財			
開始年度		平成 6 年度	→	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令		
	分野別計画・指針					文化財保護法 所沢市文化財保護条例	
	関連・類似事業					所沢市埋蔵文化財調査センター条例	
	総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び 人・文化をはぐくむまち	施策	5節 市民文化	中柱	3 文化財の保存・活用 小柱 (1)文化財の調査収集・市民への紹介
・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 33 位		・実施計画における位置づけ…H19 *** H20 ***					
行政改革大綱における行動計画への位置づけ							
コード	1111	市民の知りたい情報の提供	コード	3261	事務事業見直しの推進	コード	
事業開始の背景	埋蔵文化財の発掘調査によって出土した遺物と調査記録類は、旧庁舎及び中央公民館地下倉庫に保管していたが、出土量の増加とともに保管場所が不足し、活用も図られない状態であったため、平成6年、北野地区に市立埋蔵文化財調査センターを建設した。						

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)						
	発掘調査等による出土遺物や付帯資料を永年にわたって整理・保存し、それらの展示・活用を十分に行うため、各種情報を児童・生徒や一般市民に広く提供する施設として、埋蔵文化財調査センターを適正に管理する。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方			
	整理・保存においては、出土遺物・資料 展示・活用においては、児童・生徒、一般市民			施設利用者			
対象数	単位	平成 18 年度	337,883	人	平成 19 年度	339,058	人
		平成 18 年度			平成 19 年度	9,170	人
		平成 19 年度			平成 19 年度	10,933	人
事業の具体的な内容及び実施方法							
①発掘調査資料の整理・保存 ②調査報告書の作成 ③出土品の展示・活用 ④施設利用者への各種サービス提供のための施設維持管理業務							

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>						
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])					
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
平成19年度中に改善した点							
展示物について、常設展示及び前年度に実施した最新発掘調査に関する出土品等について展示替えを行った。また、施設修繕については、冷暖房施設緊急修繕、非常用誘導灯修繕等を行った。							

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		8,124	10,760	10,183
	決 算 (見込み含む)		8,180	10,186	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(0.05 人) (0.00 人)	(0.05 人) (0.00 人)		
	正規職員人件費	0.88 人	8,096	1.13 人	10,615
	公債費		30,059	30,060	
	事業費合計		46,335	50,861	
	財源内訳	一般財源	46,335	50,861	10,183
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
市民一人当たり(単位:円)			137.1	150.0	
利用者一単位あたり(単位:円)			5,052.9	4,652.1	

⑥指	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	施設利用者数	職員、臨時職員数及び来館者数	人	9170	10933	11000	
		年間開館日数	開庁日及び休日開館日	日	246	247	248	
	成果分析	施設修繕件数	年間の施設修繕件数	件	目標値	5	5	5
実績				6	7			
%				達成率	120.0	140.0	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	1

評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input checked="" type="checkbox"/> 対象を拡大する <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
明らかとなった課題	主要業務である発掘調査の拠点としての機能を維持しつつ、多くの市民に埋蔵文化財の情報を提供する施設としての役割を果たしていくことが、文化財保護行政の進展にあたって重要となる。今後は展示内容を随時見直すなど、今まで以上に来館者への配慮が必要である。		

⑦一次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
	平成20年度における目標設定	館内の展示替え 各時代の常設展示(展示物・写真・解説パネル)を従来のものと入れ替える	5月16日まで

平成21年度における事業の方向性	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
評価理由	
埋蔵文化財調査センターは、発掘調査の拠点として、また、展示、公開の場として重要な施設である。当該事業はこの施設を適正かつ効率的に運用管理するための事業であり、今後も現状どおり継続する必要がある。	
評価日	平成20年5月16日
記入者職氏名	埋蔵文化財調査センター所長 中島岐視生

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了					
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
⑨個別計画における方向性	評価理由						
	評価日						
	優先度評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業

◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	261
⑨個別計画における方向性	2-6歴史・文化的環境の保全	施策の方向	2-6-1歴史・文化遺産の保存と活用
◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
基本目標			
主要課題			
施策の方向			